

提案授業（外国語活動）について

本時のねらい

これが何かと尋ねる簡単な言い方を使ったクイズを楽しむ。



伸ばしたい資質・能力		学習活動
知識	<ul style="list-style-type: none"> 相手とコミュニケーションを取り合う力 身の回りを表す言葉 (baseball, tennis, basketball, volleyball, judo, swimming, running 等) What's this? (What sport?) を用いた表現 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものを尋ねたり答えたりする活動を通して交流活動をする。
技能等	<ul style="list-style-type: none"> 相手と気持ちよくコミュニケーションを取り合う力。 (Hello, How are you? I'm ~. Thank you..) 伝えたい内容を相手に積極的に伝えようとする能力 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものを言い表す言い方に気付く。

<提案する手立て>

①スポーツや動物を表す言い方に慣れ親しませる活動の工夫

- ポインティングゲームやジェスチャーゲームを通して、友だちとの交流活動を取り入れながらスポーツの言い表し方を練習する。
- スポーツの言い表し方の活動を通して、コミュニケーションを取り合うことの楽しさに気付く。

②本時のねらいに即した振り返りをさせるための工夫

- 本時の学習の内容を理解しているかを確認する問題に取り組ませる。
- 振り返りカードを本時のねらいに沿った感想を書けるように、めあてを振り返らせてから記入させる。

<協議の視点>

本時のねらいや伸ばしたい資質・能力に対して

- ①「手立て①」は有効であったか。
- ②「手立て②」は有効であったか。



校内研修テーマ

友達と積極的にコミュニケーションを図る児童の育成
—自分の思いや考えを英語で表現する活動を通して—

	目指す児童像	見取りの視点
低学年	友達に自分の思いや考えを伝えようと積極的に活動に取り組む児童	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良く 様々な表現を工夫して

外国語活動学習指導案

平成28年7月11日（月）第5校時（14:00～14:45）第2学年
指導者 HRT 宮下昌之・青木朋美 ALT Riley Connolly JTE 高山直美

1 単元名 クイズで楽しもう

2 考察

(1) 教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

- ・内容1-(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。」
- ・内容1-(2)「積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。」

②主な伸ばしたい資質・能力

- ・動物やスポーツの言い表し方を知り、簡単な尋ねたり答えたりする言い方を使って積極的にやり取りを楽しもうとする態度。
- ・あいさつや尋ねたり答えたりする言い方を使って、コミュニケーションを図ろうとする能力。
- ・英語の音声やリズムを聞こえるままに、まねしたり反応したりしながら、日本語と英語の音の違いに気付かせる体験的な活動。

③そのために必要な指導・学習活動

- ・歌やチャンツなどを取り入れ、英語によるあいさつや身近なものの言い表し方に慣れ親しめるようにする。
- ・簡単な尋ねたり答えたりするゲーム活動を行い、語句に対する興味関心を高め、その言い方に慣れ親しむ。
- ・ALT や JTE と一緒にゲームを取り組むことで、英語特有のリズムやイントネーションを聞き取ったりまねしたりする。
- ・基本的なコミュニケーション（あいさつ・相手を見る・うなずく・ジェスチャー）の仕方を身に付けコミュニケーションを図る楽しさを体験させる。

④今後の学習の活用

- ・クラスルームイングリッシュでの活用

(2) 児童の実態及び指導方針（男子19名、女子13名、計32名）

①既習の学習内容や活動

- ・授業やトレーニングタイムなどで歌やゲームを取り入れ、英語の音声やリズムを聞こえるままにまねしたり反応したりして、英語の音声に慣れ親しんできた。

②実態及び方針

- ・学級全体として外国語活への取り組みは積極的であり、活動の際には英語の音声やリズムを積極的にまねしようとする児童が多く、児童は数少ない外国語活動の授業を心待ちにし既習の歌を口ずさんだり単語を使ったりしている。
- ・簡単なあいさつや尋ねたり答えたりする活動を通して、友だちとのやり取りを楽しもうとしている。
- ・友だちや ALT、学級担任との交流活動を通して、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わわせることで、積極的に人と関わる態度を育てたい。
- ・児童が自分や友だちのよさに気付いて伸ばせるように、学級担任は個々の児童の個性や気付きを積極的に賞賛するとともに、ALTは英語への慣れ親しみやコミュニケーションを図ろうとする意欲的

な姿勢に対して多様な賞賛を行う。

- ・ 振り返りの時間に、児童同士で感想を伝え合い、いろいろな見方や考え方に気付くことができるようにする。

3 単元の目標

スポーツや動物の言い方や、これが何かと尋ねる簡単な言い方に親しむ。

4 本時の展開（2/3）

ねらい	これが何かと尋ねる簡単な言い方を使ったクイズを楽しむ。		
扱う表現	What' s this? It' s a monkey. What sport? It' s tennis.		
語彙例	スポーツ (baseball, tennis, swimming, soccer, judo, など) 動物 (lion, cat, elephant, gorilla, penguin, koala など)		
準備物	絵カード (スポーツなど)、CD (「Head Shoulders Song ♪」)、 CD「♪マラソンじゃなくてMarathon」 ポインティングゲーム用シート、ブラックボックス (スポーツ用品)		
過程	時 間	○ 主な学習活動 * 指導上の留意点	具体的な評価規準 評価観点【評価方法】
あいさつ	5	○ 簡単なあいさつをする。 * 気持ちを表すジェスチャー等を交え、表現に慣れるようにする。 ○ 曜日、天気について答える。 * 絵カードなどを提示し、曜日や天気等の言葉が視覚的に分かるようにする。	
ウォームアップ		○ 「Head Shoulders Song ♪」を歌う。 * 正確に歌えることよりもリズムに合わせて体を動かしながら口ずさみ、楽しめるようにする。	
活動	30	○ 本時のめあてを知る。 めあて：リオオリンピック・パラリンピックをおうえんしよう！ Let' s cheer for Rio Olympics ! / Paralympics ! ○ スポーツチャンツを行う。「♪マラソンじゃなくてMarathon」 * リズムに合わせて体を動かしながら口ずさめるようにする。 1：ブラックボックスゲーム ① ALT がボックスの中から、ボール等の道具を見せて、 What sport ? と問いかける。 ② スポーツの名前を言っていく。 ○ 具体物を見ながらいろいろなスポーツの言い方を知る。 * 単語カードで言い方の練習をする。 ○ 夏季オリンピックにある競技とない競技に気付く。	

2：ポインティングゲーム

- ① ALT に What sport ? と質問する。
- ① ALT が言ったスポーツを表す言葉や絵に触る。
(一人で、友だちと)

* ポインティングゲーム用シートを配布して、スポーツの言い方を知っているかを確認する。

* ゲームを通して、言い方を練習する。

3：ジャンケンゲーム

- ① カードを一枚ずつ持ち、教室を回って出会った友だちとペアをつくる。
- ② 持っているカードのジェスチャーをし合ってからジャンケンをして勝った方はカードをもらう。
- ③ 負けた方は、新しいカードをもらう。(数分間取り組む)
- ④ 自分の手持ちのカードを数えて、チャンピオンを決める。

* 児童は語で答える程度でよい。

ゲームを通して、スポーツについて尋ねたり答えたりして楽しんでいる。

【観察】

4：ジェスチャーゲーム

- ① HRT と ALT で例を示す。
- ② 5人か6人のグループを作り、順番に問題を出し合う。
回答者の児童は What sport? と質問する。
- ③ 出題者は、ジェスチャーを行い、回答者が答える。
- ④ 当たったら「ok」や「good！」などを言う。
(順番に、数分間取り組む)
- ⑤ クラス全体の前で問題を出し合う。(数名)

振り返り
あいさつ

- 10
- 既習したことの復習をする。
* ALTに問題を出題してもらいワークシートに記入する。
 - 授業で楽しかったことやがんばったことを振り返る。
 - 感想を文章で書き、発表する。
* 本時のねらいにそって感想を書けるように助言する。
 - 簡単なあいさつをする。